

東京都シニアチーム対抗水泳競技会 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも8レーンで、スケジュールどおりに行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、同一団体からの決勝進出は2名以内とする。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。スイムオフは、予選のランキング発表後15分以内にリゾリューションにて該当選手または所属責任者の立会いのもと実施時刻を決定する。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合、スイムオフ出場を棄権するものとみなす。スイムオフを棄権した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (5) 予選出場者数が8名（チーム）以下の場合でも予選競技を行う。
- (6) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、実施当日の9時00分までにリゾリューションに棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙の提出がない場合は、1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (8) 決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションに1種目につき棄権料3,000円を添えて棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。なお、決勝競技の棄権は審判長の承認を必須とする。
- (9) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (10) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (11) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (12) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (13) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (14) 予選は組のみの紹介、決勝は選手紹介を行う。
- (15) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (16) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。

2 リレーオーダーについて

- (1) リレーオーダーは、以下の指定時刻までにリゾリューションに提出すること。
(フリーリレー・メドレーリレー共通)
予選 9:30
決勝 14:00
- (2) リレーオーダー用紙は、事前にホームページからダウンロードして持参すること。

3 表彰について

- (1) 団体対抗は、学生連盟の部、一般の部それぞれ男子総合、女子総合の得点が最も多い団体を優勝団体として表彰する。（学生連盟登録以外の大学の団体は一般の部とする）
- (2) 個人種目表彰は行わない。
- (3) 全競技終了後（2日目）に優勝団体の表彰式を行う。

4 得点について

- (1) 個人種目は、1位9点、2位7点、・・・8位1点とする。
リレー種目は、1位18点、2位14点・・・8位2点とする。
なお、同着の場合は次の順位を欠位とし、得点は該当順位の点数をそれぞれに与える。
- (2) 総合得点が同点の場合は、次の手順に従い順位を決定する。
 - ① リレー得点の多い団体
 - ② 入賞数の多い団体
 - ③ 1位の数の多い団体（以下8位までこれにならう）

5 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書（様式A-05）は、各団体にてホームページよりダウンロードして出場選手および引率者に配布すること。（必ず指定の様式をダウンロードし、A4サイズでプリントすること）
- (2) 本追加要項「16 大会参加にあたっての同意事項について」に記載の各事項に同意した者に限り会場への入場を許可する。同意事項をよく確認の上、同意欄に署名すること。未成年者は保護者の署名を必須とする。
- (3) 健康管理表兼参加同意書は、選手・チームスタッフ問わず全ての入場者において提出を必須とする。大会参加初日の入場受付時に提出すること。（大会期間中1枚）

6 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式T-03）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票兼誓約書を競技開始時刻までに入場受付に提出すること。（1団体1枚/毎日）
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

7 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして承認印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。（A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、個人種目出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携帯すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカードの提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。

8 入退場について

- (1) 大会期間中は7時30分に開場しチームスタッフ、選手の順で入場する。
（注意）必要以上に早く来場しないこと。
入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。（別紙「会場図」を参照）

(3) 入場の手順は以下のとおりとする。

①ADカードチェック

②健康管理表兼参加同意書提出（出場初日のみ）

- ・記入漏れがないか事前に確認すること。
- ・健康管理表兼参加同意書は、あらかじめ手元に用意しておくこと。

③検温

- ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
- ・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

④入場許可スタンプ

- ・ADカードに許可スタンプを押印する。入場時の際、ADカードはケースから取り出しておくこと。

(4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。

(5) 出場最終日の退場時にADカードを退場口の受付に提出すること。

(6) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

(7) 大会は無観客で実施する。家族・友人および一般観覧の入場はできない。

9 選手の控え場所について（別紙「会場図」を参照）

(1) 控え場所は観覧スタンドのみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。

(2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。

(3) スタンド1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。

(4) 赤テープが貼られた席は着席を禁止とする。（対人距離確保のため）

(5) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。

(6) サブプール更衣室は使用できない。

10 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと

(1) メインプールA面

水深2m、水温28.0度に設定する。

① ウォーミングアップは、競技開始20分前までとする。

② ウォーミングアップ時の8レーンはダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、1レーンはペースレーンとする。（クロールのスイムのみ）

③ パドル・コード類の使用は禁止する。

④ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。

⑤ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) メインプールB面

① 水深2m、水温28.0度に設定する。

② 練習用として常時使用できる。

③ 1レーンはダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、2レーンはペースレーンとする。（クロールのスイムのみ）

④ パドル・コード類の使用は禁止する。

⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。

⑥ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(3) サブプール

水深1.2～1.4m、水温28.5度とする。

① 1～3レーンを女子専用、5～7レーンを男子専用とし、4レーンはペースレーンとする。

② 飛込みは禁止する。ダッシュレーンは設けない。

③ 混雑時はコードの使用を禁止する。

④ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(4) ダイビングプール
使用できない

11 ストレッチスペースについて

メイン側ウッドデッキをストレッチスペースとする。利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

- ① 他者との対人距離を十分に確保し、常時マスクを着用すること。対人距離を確保できないと判断した場合は利用者数を制限する。
- ② 複数人でのストレッチ、補強等は認めない。
- ③ スペースの専有（場所取り）はできない。利用は1回30分以内を目安とし長時間滞在しないこと。
- ④ ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。
- ⑤ 利用の際はできるだけストレッチマット等の敷物を使用すること。
- ⑥ ウッドデッキの隙間にADカード等を落とさないように十分注意すること。
- ⑦ ストレッチスペースでの更衣は禁止する。

12 監督者会議について

監督者会議は行わない。

13 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

14 競技結果（速報）およびスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果等の掲示は行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

東京都水泳協会 HP ⇒ <https://tokyo-swim.org/>



15 YouTube の配信について

全競技 YouTube で映像配信する。

「かわずちゃんねる」 ⇒ <https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJSStFKQ>



16 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または団体の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

17 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のもを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (3) プールサイドは室内履きに関り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物は、リゾリューションにて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合があります。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (10) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

18 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10 時～17 時)

大会当日の連絡先 03-5534-6388 (大会当日のみ)